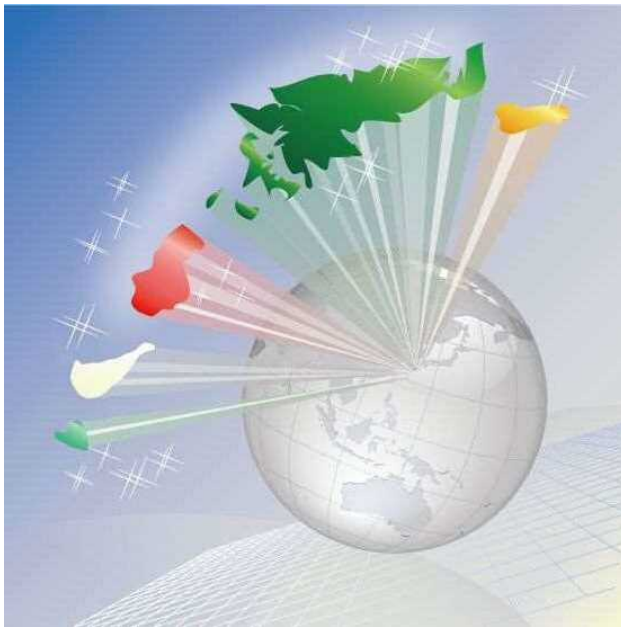


## 奄美群島成長戦略ビジョンの一部改訂に係る説明資料



- ① 奄美群島成長戦略ビジョン策定について
- ② 奄美群島成長戦略ビジョンの概要
- ③ 奄美群島成長戦略ビジョン策定後の取り組み
- ④ 奄美群島成長戦略ビジョン改訂に向けた取り組み

### 参考資料

奄美群島成長戦略ビジョン改訂(改訂箇所抜粋)

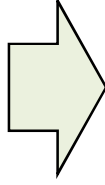
# ① 奄美群島成長戦略ビジョン策定について

奄美群島広域事務組合

## 奄美群島成長戦略ビジョン策定の必要性について

### 奄振法60年が経過

道路、農業基盤等各種インフラ整備で一定の成果をあげている。情報インフラや農業基盤整備等まだまだ十分ではないものの、一方で自立に向けての萌芽がみられる。



### 今後さらに成長を促進させるため

基本方針や振興開発計画策定に、より地元市町村が**主体的**に関わることが求められる。・・・①

また、住民の日常生活圏の広がりや情報化の急速な進展などにより、市町村が取り組むべき政策課題はますます広がっており、様々な行政サービスを効率的・効果的に行うため、広域行政の重要性が増している。

即ち、市町村単独の施策の展開から**群島一体となった施策の展開**へのシフトである。・・・②

これら①、②を踏まえ、新たな奄美群島の成長を実現するためには、**地元市町村自らの手で将来の姿を描き、その責任のもと着実に施策を実行することが重要である。**

## 策定体制

### 各島分科会

各島の市町村職員と民間から重点3分野+2分野に関係する15名で構成。

ワークショップ形式で各島の『魅力・強み』、『課題・弱み』を整理した上で、以下の事項について協議した

- ・各島でやるべきこと(=戦略)
- ・戦略のゴール設定
- ・戦略の行動計画

### 策定作業部会

12市町村企画担当課長及び大島支庁で構成

- ・ビジョン策定作業と群島全体の戦略協議
- ・市町村の事前調整等

### 奄美群島12市町村

(策定主体)

奄美群島市町村長会にてビジョンの決定

### 奄美群島成長戦略

#### 推進懇話会

成長戦略ビジョンの策定に当たり、提言を実施。

座長：原口 泉  
(志學館大学教授)

座長代理：大城 肇  
(琉球大学学長)

有識者、各島代表市町村長、  
県・市町村議会代表、  
大島郡町村会会長、  
関係行政機関など  
計16名で構成

奄美群島成長戦略ビジョン策定（平成25年2月27日奄美群島市町村長会決定）

## ② 奄美群島成長戦略ビジョンの概要

奄美群島広域事務組合

### 基本理念

奄美群島成長戦略ビジョンは「群島民が幸せに生活するため、重点3分野（農業、観光/交流、情報）を基軸として、雇用の創出に重点を置いた産業振興を目指す」ことを基本理念と定め、その実現のために地元市町村は自らの手で将来の姿を描き、必要な施策を主体的に協働して、着実に効果的に施策を実施する。

### 奄美群島の将来像

ビジョンの基本理念が達成された将来の姿を群島民全体で共有するために、奄美群島が10年後にこうありたいと願う姿を3本柱で定めた。

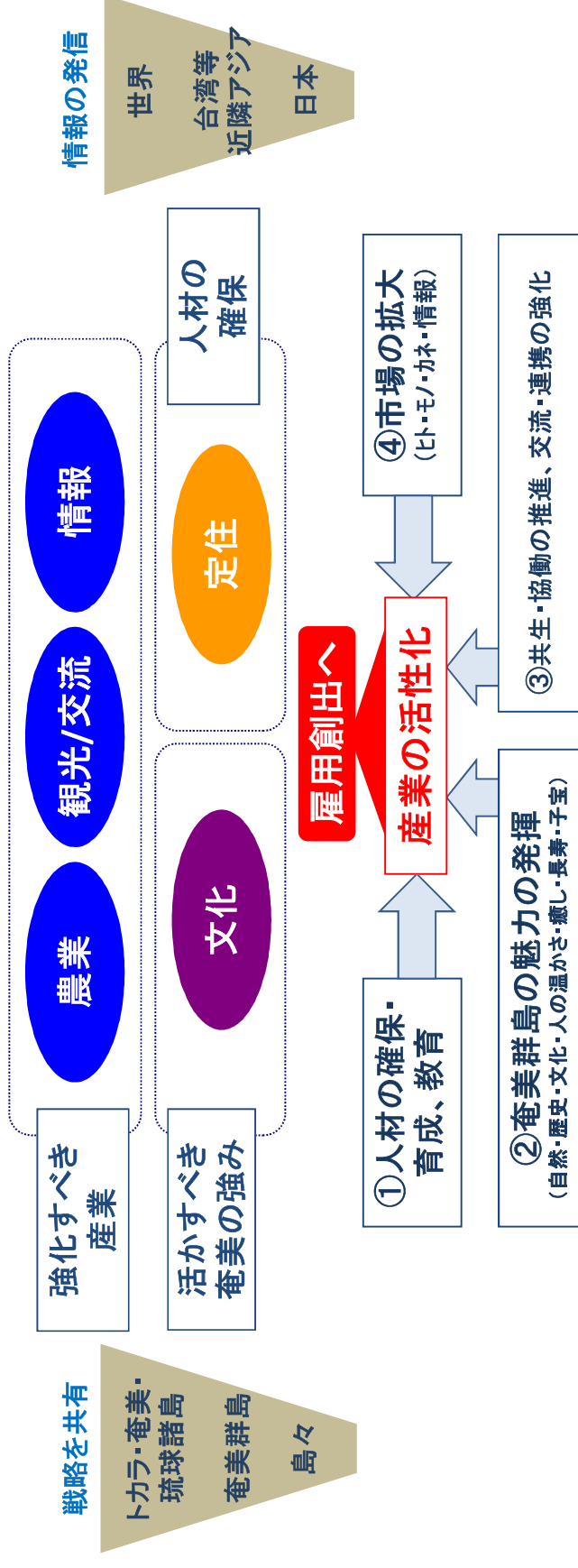
若者がチャレンジし、  
夢を実現する島

全ての「島ちゆ」が  
主人公として活躍する島

世界の人々に  
魅力を伝える宝の島

### 戦略の基本方針、基本方針

将来像を実現するための戦略の基本方針を、重点3分野+2分野における奄美群島一体となった広域的な取り組みと展開圏域の拡大と定め、さらに基本方針に基づく方策として、産業の活性化に向けた4つの柱を①～④のとおり定めた。



### ③ 奄美群島成長戦略ビジョン策定後の取り組み

奄美群島広域事務組合

#### 奄美群島全体と各島の戦略の基本方針

奄美群島全体と各島における『特性と戦略の方向』『基本方針』をそれぞれに定め、各種施策を実施。

##### 【奄美群島全体の戦略の基本方針】

###### ○特性と戦略の方向

各島における多種多様な独自の文化、豊かで美しい自然、豊かで美しく結いの心あふれる島民性  
総人口及び若年人口の減少と高齢化、知名度やブランド力の弱さ、航空運賃や輸送費など割高なコスト等、群島共通の課題解決  
各島の魅力・個性のこれまで以上の磨き上げ、群島民が新たなチャレンジに取り組み、機運の醸成  
奄美群島一体となって群島外の若者が奄美群島に定住したくなるための施策の推進

###### ○戦略の基本方針

- ① 人材の確保・育成、教育・・・産業振興の中心的な役割を担う人材確保、中長期的な育成と教育  
⇒ 群島全体の取り組みとして、当組合による奄美群島成長戦略ビジョン実現事業において各種人材育成を実施。
- ② 魅力の発揮・・・各島の独自性を明確化して群島外へ発信・伝達するための総合的なプロモーションと、魅力のコンテンツの充実  
⇒ (一社)奄美群島観光協会を中心とし、大都市圏において群島一体となった物産展の実施  
⇒ 各島の観光団体を中心とした、受入及び情報発信体制の整備。
- ③ 共生・協働、交流・連携・・・より多くの共同プロジェクト推進によるスケールメリットの発揮、世界自然遺産登録を見据えた連携  
⇒ 奄美群島への移住を希望する者へのワンストップ窓口を設置。  
⇒ 世界自然遺産登録を見据え、沖縄・屋久島等近隣地域との連携の強化。
- ④ 市場の拡大・・・顧客本位の6次産業化、観光コンテンツの充実などによる群島全体のブランドの創造と強化  
⇒ (一社)奄美群島観光協会による旅行説明会及びFAMトリップの誘致による旅行商品造成の促進  
併せて、『あまみシマ博覧会』の開催による着地型観光の促進

以上の取り組みを踏まえ、各島分科会において、『魅力・強み』及び『課題・弱み』を整理し、奄美群島の今後の戦略について協議

## ④ 奄美群島成長戦略ビジョン改訂に向けた取り組み

### 各島分科会で整理された奄美群島の『魅力・強み』及び『課題・弱み』

#### 奄美群島全体と各島の『魅力・強み』

- 【奄美群島】
  - ・交流人口増加による新たなビジネス機会の増加
  - ・沖縄との連携強化
  - ・ドクターヘリによる医療体制の充実
- 【奄美大島】
  - ・LCC就航による知名度向上
  - ・奄美大島5市町村の連携強化(DMO)
  - ・世界自然遺産候補地としての環境保全強化
- 【喜界島】
  - ・ネット環境の向上
  - ・農業基盤整備(地下ダム)による農業環境向上
  - ・遺跡の文化的価値の再確認
- 【徳之島】
  - ・農業基盤整備(徳之島ダム)による農業環境の向上
  - ・産婦人科医の確保
  - ・ダイビングビジネスの活況
- 【沖永良部島】
  - ・農家の所得増加
  - ・農作物の品質及び価格の安定
  - ・デザイナーの増加
- 【与論島】
  - ・観光客の大幅増
  - ・畜産頭数(子牛)の増加及び所得の増加
  - ・メディアでの露出が増えたことによる知名度向上

#### 奄美群島全体と各島の『課題・弱み』

- 【奄美群島】
  - ・人口減少と高齢化の進行
  - ・依然として島内出産ができない島があること
  - ・空き家の増加、未活用
- 【奄美大島】
  - ・公共交通機関の不足(路線・便数)
  - ・ミカンコミバエ等の病害虫侵入対策強化
  - ・観光業における人材不足
- 【喜界島】
  - ・宿泊施設の不足
  - ・加工品の割高な輸送コスト
  - ・看護師、保育士等の不足
- 【徳之島】
  - ・新規就農者の育成が必要
  - ・若年層を中心とした人材の還流不足(徳之島へ戻ってこない)
  - ・観光客の受入体制の整備
- 【沖永良部島】
  - ・農家の高齢化(担い手不足、人手不足)
  - ・魅力を取入れ変える情報発信力(稼ぐ力)
  - ・専門医の不足
- 【与論島】
  - ・外国語に対応できる人材の不足
  - ・宿泊施設の減少及び不足
  - ・住宅不足

『魅力・強み』を伸ばし、『課題・弱み』を解消させるべく、ビジョン改訂を実施